

修士論文構想発表会を以下の要領で開催します。

日時： 2017年11月30日（木）9:10～14:10

場所： 国際交流会館大会議室

2017年度 修士論文構想発表会プログラム

発表時間	(研究室)	氏名	発表タイトル
0910-0925	(情報)	石崎 春花	1km メッシュ解析雨量を用いた日本全国の水収支解析
0925-0940	(環境)	井堀 雄介	黒ボク土の分布特性と斜面傾斜および土地利用の関係
0940-0955	(情報)	中三川 光	雄武のひかた風の吹走メカニズムに関する研究
0955-1010	(情報)	前原 翔吾	高解像度 UAV 画像を用いたアマモ場判読手法の検討 —福島県松川浦を例に—
1010-1025	(情報)	山川 大智	青ヶ島火山に於ける小型 UAV による海食崖の観測と考察
1025-1040	(気候)	藤原 周平	東アジアの大雨変動と海洋熱帯域の SST 分布及び大気循環の関係
(休憩)			
1055-1110	(気候)	星 亮輔	冬季の北極振動シグナルの続く夏季の気候への持続性変化
1110-1125	(気候)	山崎 拓弥	関東地方での降雪イベント時の低温場の形成要因
1125-1140	(人文)	藤井 優作	都市公園における施設管理の変化とその背景
1140-1155	(人文)	井上 明莉沙	津波被災地における介護保険サービス事業所職員のローカルノレッジ
1155-1210	(気候)	萩谷 嵐	台風による住宅被害の地域分布の特徴とその要因の解析
(休憩)			
1310-1325	(気候)	藤塚 大輔	関東平野におけるメソスケール降水の特性
1325-1340	(地形)	加藤 佑一	河成段丘の比較による隆起量推定を用いた伏在活断層の推定 —宮城県鳴瀬川周辺を例として—
1340-1355	(地形)	桑田 憲吾	天井川の形成過程に関わる要因の検討:旧街道沿いの地形と歴史を対象に
1355-1410	(地形)	津田 杜明	岩手山東麓に存在する洪民溶結凝灰岩の分布と層序

- ・ 発表用パソコンは自分達で用意して下さい（共用パソコンを使って構いません）。